

東北経済連合会

復興財源継続確保など要望

27年度政府予算政府、国会議員らに
東北地域重点事項

一般社団法人・東北経済連合会(高橋宏明会長)はこのほど、平成27年度政府予算に関する東北地域の重点事項を政府・省庁、自民党、東北7県選出国会議員に対し要望した。要望項目は次のとおり。

〈復興財源の継続的確保〉

- 1、復興・公共事業予算の継続的確保
- 2、東日本大震災の復興・復興予算の継続的確保
- 3、被災地への支援
- 4、被災地の復興を最優先とした国土強靱化等の実施
- 5、世界各国の防災にも寄与する国立震災復興記念館(仮称)の東北への設置
- 6、福島再生への支援

▽避難者の生活安定、就業への支援強化

▽避難地域内企業の事業活動に対する支援の強化

▽ふくしま産業復興企業立地補助金の拡充

▽除染による環境の回復及び汚染土壌等の処理・保管の着実な実施

▽早期帰還・定住を加速する生活環境や産業基盤等の整備

3、被災地域における産業復興への支援

▽事業支援の実施

①被災企業による販路拡大、新規事業、新分野進出等への支援強化

②中堅・中小企業等の海外ビジネス展開に関するサポート等の支援制度拡充

▽産業復興の推進

①土地利用、産業立地等に関する諸規制の緩和

②被災地産業用地買上げ等の復興交付金の弾力的運用

③復興を支える産業用電力の安定供給確保

④被災地産品優先購入に向けての支援策の実施

⑤市街地整備における効果的なエネルギーシステム構築への支援

▽雇用施策の推進

▽被災企業に対する資格認定取得の強化

4、風評被害の解消

▽東北全域について風評被害払拭のための広報・PR活動の強化

▽消費者に対する安全に関する情報発信の強化

〈国際リニアコライタ(ILC)等の誘致〉

- 1、ILCの日本・北上への誘致
- 2、ILC立地評価会議の結論を尊重しての日本・北上地域への誘致の促進

▽東北放射光施設の整備

▽山形大学における重粒子線がん治療施設

▽東北全域について風評被害払拭のための広報・PR活動の強化

▽消費者に対する安全に関する情報発信の強化

〈国際リニアコライタ(ILC)等の誘致〉

- 1、ILCの日本・北上への誘致
- 2、ILC立地評価会議の結論を尊重しての日本・北上地域への誘致の促進

▽東北放射光施設の整備

▽山形大学における重粒子線がん治療施設

▽外国人観光客やLCCの増加を支える受け入れ環境等の整備

〈地域自立・連携の基盤となる社会資本整備〉

- 1、高速交通ネットワークの整備・利活用
- 2、復興道路・復興支援助道の早期完成
- 3、三陸縦貫自動車道の早期全線完成
- 4、宮古・盛岡横断道路の早期全線完成
- 5、東北横断自動車道の早期全線完成
- 6、東北中央自動車道の早期全線完成
- 7、津軽自動車道の整備促進
- 8、地域高規格道路の整備促進
- 9、国際拠点港湾である仙台塩釜港ならびに新潟港等の整備促進

▽東北の拠点空港の整備・拡充および利便性向上

〈東北産業経済の活性化に向けての支援〉

- 1、産業の復興と集積促進に向けた施策の推進
- 2、農林水産業の復興促進と競争力の強化
- 3、情報通信技術の活用促進
- 4、国内一次産品・加工品の輸出促進
- 5、情報通信技術に係る環境の整備とその利活用の促進
- 6、情報通信基盤等の整備
- 7、プロードバンド環境整備の促進
- 8、震災からの復興に際しての情報発信の促進
- 9、低炭素社会に向けた取り組み
- 10、原子力等に関する研究人材の育成・確保
- 11、太陽光・風力・地熱・バイオマス等の再生可能エネルギーの研究開発・導入促進

〈エネルギー政策の着実な推進〉

- 1、経済基盤を支える電力供給の安定化の促進
- 2、安全が確認された原子力発電所の早期再稼働の推進
- 3、原油等燃料の価格安定化と供給量の確保
- 4、低炭素社会実現のための施策の推進
- 5、低炭素社会に向けた取り組み
- 6、原子力等に関する研究人材の育成・確保
- 7、太陽光・風力・地熱・バイオマス等の再生可能エネルギーの研究開発・導入促進

齋勝建設と共同開発

=理研興業=

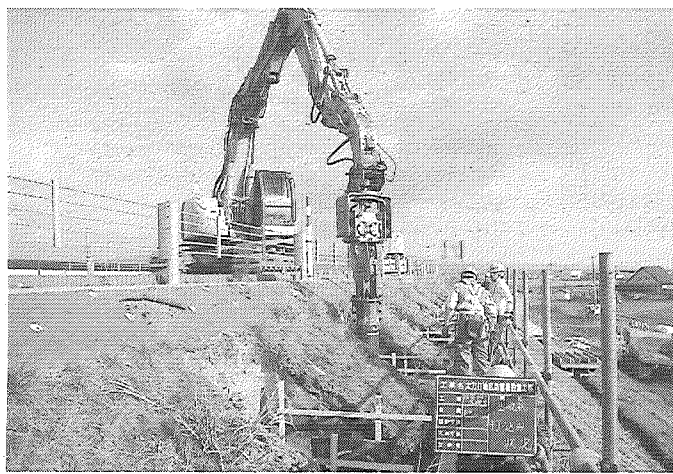
鋼管杭打ち込み金具R_link

青森県西北地方最大手の総合建設業である齋勝建設(五所川原市 齋勝彰浩社長)はこのほど、防雪防風柵のトップメーカーである理研興業(本社・小樽市 柴尾耕三社長)と、鋼管杭打ち込み金具R_linkを共同開発した。チャックキングプレートの溶接や切断を不要とし、施工性・経済性に優れた面期的な打ち込み方法として各地で注目を集めている。

近年、防雪柵工や標識工、遮音壁工の基礎工として鋼管杭が多く用いられているが、この鋼管杭を打設する工法としては、大別するとモンケンによる打撃貫入工法とバイプロ工による振動貫入工法が挙げられる。振動や騒音等の周辺環境への配慮や使用重機の汎用性の観点から、バイプロ工法での施工が求められる現場がほとんどである。齋勝建設と理研興業は、この課題を解決すべく、鋼管杭の打ち込みを簡易に装着可能な鋼管打ち込み金具R_linkを開発した。防雪柵工や遮音壁工に使用するφ500未満の小口径の鋼管杭の打ち込みを対象として、鋼管杭頭部に蓋を被せるような形状でバイプロハンマがチャッキングできる。R_linkはポルトによる固定・脱着方式で再利用可能な金具であり、溶接や切断が不要となるため、経済性・施工性に優れた工程短縮にも寄与できる。従



【鋼管杭打ち込み金具R_link】



【太刀打地区防雪柵設置工事(五所川原市)】

来溶接加工や切断除去時に懸念されていた鋼材への熱影響も一切無から、よりの経済的に鋼管杭を打ち込むことが可能となった。また、緻密な構造計算と現地試験の積み重ねにより十分な強度を有しており、既に各管内の国道、高規格道路で採用され施工業者から好評を得ている。

現在、国土交通省新技術情報提供システムNETISへの登録を申請中であり、今後の更なる採用が期待されている。

誠意と技術をモットーに
美しい環境づくりを考える!

営業種目

- ◆ 消火設備工事
- ◆ 各種配管工事
- ◆ 冷暖房設備工事
- ◆ 上下水道工事
- ◆ 衛生設備工事

青森市指定工事店

(有)マルユウ大青水道工業

青森市大字大野字片岡28-12 (017)776-8576 FAX(017)722-6897